

防災教育の総合展開

消防大学校では、実務講習の危機管理・防災教育科として、トップマネジメント、防災実務管理、国民保護、自主防災組織育成の4コースを設置し、防災教育を総合的に展開しています。

各コースの概要と平成19年度計画については表の通りですが、ここで平成18年度における各コースの様子とその成果について紹介します。

1. トップマネジメントコース

(平成18年8月、平成19年2月)

地方公共団体での大規模災害発生時等における首長を中心とした対応能力の修得を目的に、本年度も東京・千代田区のスクワール麹町において行われました。

講義「自然災害に対する危機管理－過去間に学ぶ－」では、吉井博明先生から最近発生した事例をもとに、実際に現場で得た体験から、教訓と今後の対策等を具体的かつ客観的に教授されました。

また、「状況予測型図上訓練」では、日野宗門先生の指導により震災時の危機管理対応を組み立てる演習を実施し、その評価・検証には、前・芦屋市長で弁護士であ



状況予測型図上訓練の評価検証を行う
トップマネジメントコースの参加者

る北村春江氏や、国や地方自治体の担当者も加わって、現場の視点と行政の対応の両面から参加者と一体となって深い考察がなされました。

2. 防災実務管理コース (平成18年12月、平成19年2月)

地方公共団体における防災実務管理者等の知識と能力の向上を図るため、野口和彦先生による危機管理理論、坂本朗一先生による図上訓練等の授業を行っています。

参加者からは、「危機管理に対する視野、見るべき視点が広がった。」「県、市の防災担当者の考えもわかり意思の疎通を図ることができた。」などの意見が寄せられています。



DIGによる図上訓練を経験する防災実務管理コースの学生

3. 国民保護コース (平成18年11月、平成19年2月)

地方自治体における国民保護行政の実務を担う職員として、国民保護法をはじめとする国民保護制度のあらましを理解し、国民保護事案発生時にそれぞれの団体において、迅速・的確な対応がとれる人材を育成することを目的に、青山繁晴先生による「国家危機対応」などの授業を行っています。本年度は佐藤正典国民保護運用室長による「ケーススタディ」や厚生労働省担当者による

「救援対策」の授業を加えるなどして内容の充実を図りました。

参加者からは、「各担当者が抱えている問題点や重要だと認識している事項、それに対する解決手段等の意見を共有できた。」「新たな視点で国民保護政策について考えることができ非常に有益であった。」などの意見が寄せられています。



課題研究で討議する国民保護コースの学生

4. 自主防災組織育成コース（平成19年1月）

自主防災組織の育成担当者等の知識と能力の向上を図るため、小澤浩子先生による「話し方技法」、山崎洋史



図上訓練運営の手法を学ぶ自主防災育成コースの学生

先生による「教育技法」、そして「災害図上訓練」等の授業を行っています。本年度は自主防災組織活動で成果をあげている団体の代表者による活動事例紹介の時間を増やすなどして、教育内容の充実を図りました。

参加者からは、「授業で学んだ知識や、全国各地で自主防災組織活動に携わっている方々の苦労話なども聞いて、大変参考になりました。今後の自主防災組織の指導に役立てていきたい。」「一方向の授業だけでなく、班の討議と発表を通じた実践的な内容がよかった。」などの意見が寄せられています。

平成19年度消防大学校実務講習 ～危機管理・防災教育科～

コース名	目的	主な内容	回	定員(名)	教育期間	教育日数(日)	区分
トップマネジメントコース	地方公共団体の首長等に対し、大規模災害発生時における対応能力を修得させる。	危機管理、状況予測型図上訓練の実施・評価・検証	第5回	68	8/8(予定)	1	日帰り
			第6回	68	11/1(予定)	1	
防災実務管理コース	地方公共団体の防災実務管理者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	危機管理、防災に関する行政動向、多様な図上訓練、実務研究	第6回	108	10/22～10/26	5	入寮
国民保護コース	地方公共団体の国民保護担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	危機管理、国民保護に関する行政動向、関係機関との連携、演習、実務研究	第5回	108	1/7～1/11	5	入寮
自主防災組織育成コース	自主防災組織の育成担当者等に対し、その業務に必要な知識及び能力を修得させる。	自主防災活動の推進、話し方技法、多様な図上訓練、事例研究	第3回	48	2/18～2/22	5	入寮
計			5回	400			